

1. 開 会 認知症になっても安心して暮らせる町づくり100人会議議長 堀田 力

100人会議の堀田でございます。

土曜日の午後にもかかわらず、これだけ多くのみなさまにご参加いただき心より感謝申し上げます。また、100人会議の会員の皆様、たいへんお忙しい方ばかりなのですがお越しいただき感謝申し上げます。ご来賓の方々にも感謝申し上げます。



今回は3回目の100人会議でありまして、第1部は2006年度の活動について報告いたします。第2部では2006年度の認知症を支える町づくりで顕著な活動をされましたそれぞれの地域の方々を表彰させていただいてその内容をご報告し、これからの全国の地域活動の展開に参考にしたいと考えます。

第1部で報告します昨年の活動ですが、顕著であったのは認知症の方ご本人が参加していただく活動がかなり増えてきた、という点で、これは大きな進歩であると思います。ご存知のとおり、昨年10月に京都で認知症の人の「本人会議」があり、これもひとつの大きな契機になりまして、従来はどちらかというあまり外に出ていただけなかったご本人の方々께서しっかり自分たちの実情をアピールされ、さらには活動にも参加していただくようになって参りました。ここまできておりますことをたいへんうれしく思います。まず、本人ネットワーク支援委員会より報告いただきまして、ご本人の参加ぶりを目と耳で一緒に共感していただければうれしく思います。

また活動の本体でありますサポーター、オレンジリングに象徴されるものですが、2009年までに100万人達成という目標に向けて活動を展開しております。企業の方々、あるいは非営利の組織の方々、あるいは自治体など、いろいろなどころでご理解いただきまして、この2年間で12万人というところまできております。これもたいへん頼もしい動きであります。その点につきましても全国キャラバン・メイト連絡協議会より報告してもらおうこととなっております。

この第1部の最後のところですが、今年度はマスメディアからもたいへんなご理解を頂戴いたしました。NHKさんもこのところ認知症についてたいへん良い番組を次々につくっていただいております。映画では、一つは「明日の記憶」、もう一つは「そうかもしれない」があります。いずれも認知症になった方々の状況、心情、そしてそれを支える方の思いを見事に描き出されて、大きな理解と共感、感銘を世の中に呼び起こしていただきました。私どもの活動からしましては大変ありがたい動きでありまして、この二つの映画につきまして100人会議といたしまして表彰させていただきたいと思っております。

これが本日第1部のプログラムであります。ぜひ本日のこの会議が2007年度への大きな活動の広がり、深まり、発展へとつながることを主催者としては心より願っております。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。